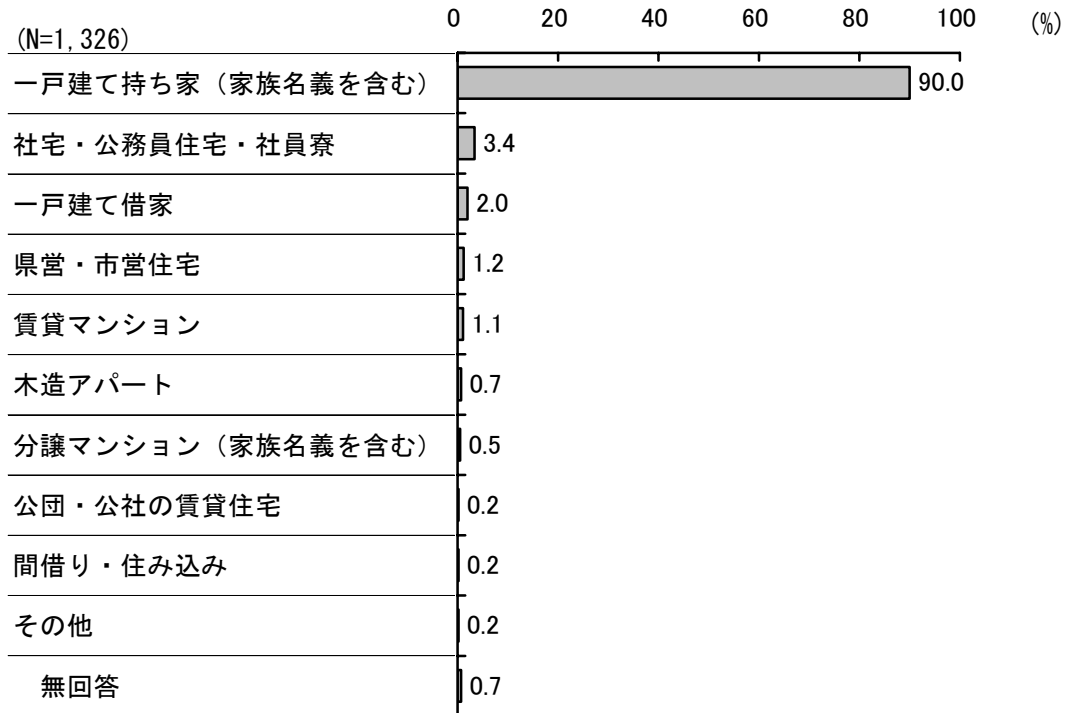


4 調査結果

◇定住意向、健康等

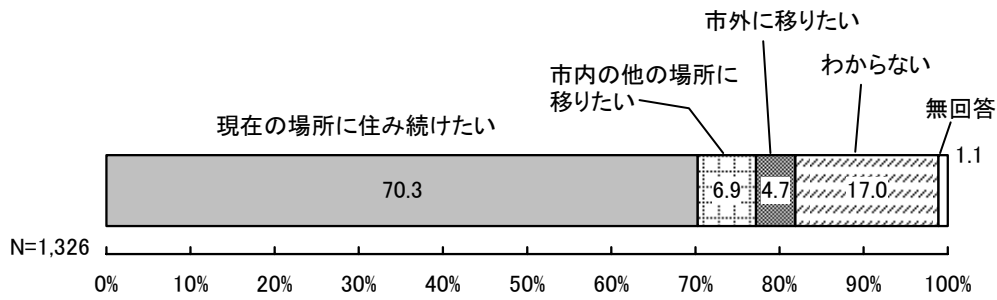
問1 現在、あなたのお住まいの住宅は次のどれですか。(○は1つ)



現在住んでいる住宅は「一戸建て持ち家 (家族名義を含む)」が9割。

現在住んでいる住宅は、「一戸建て持ち家 (家族名義を含む)」が90.0%と9割を占めている。

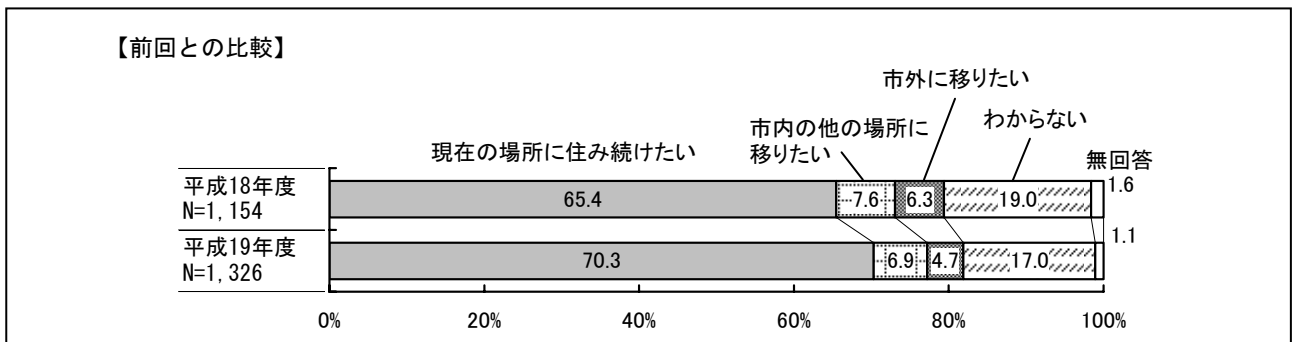
問2 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



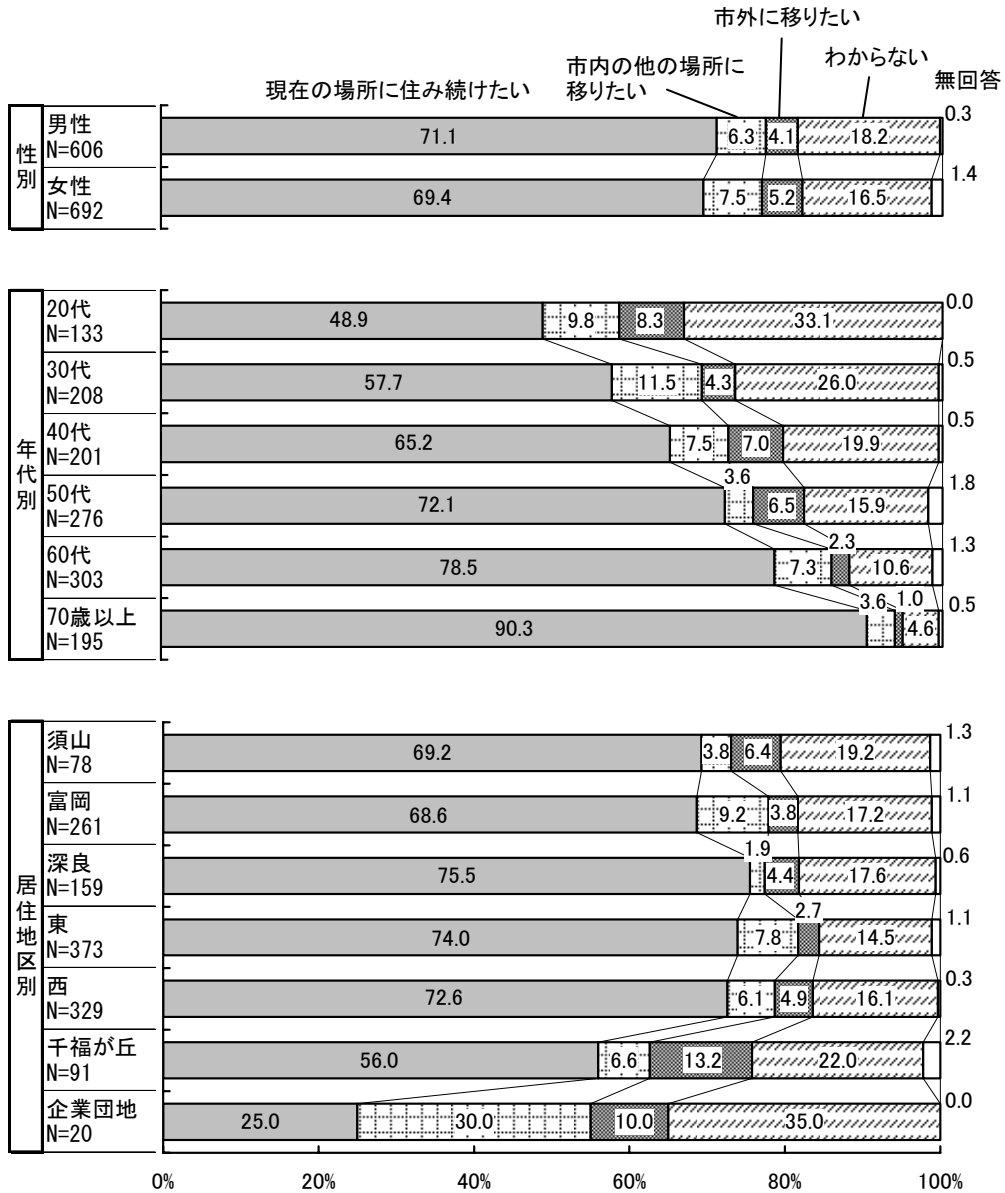
定住意向は7割。移転意向は「市内の他の場所」、「市外」とも1割未満。
年代が上がるほど定住意向が高い。

定住意向は、「現在の場所に住み続けたい」が70.3%と7割を占めている。移転意向はいずれも1割に満たない。「市外に移りたい」は4.7%である。

下記のグラフにあるように、前回の調査＝平成18年度調査と比較すると、「現在の場所に住み続けたい」は今回の調査の方が4.9ポイントほど上回っており、移転意向はいずれも前回の調査を下回っている。



【属性別】

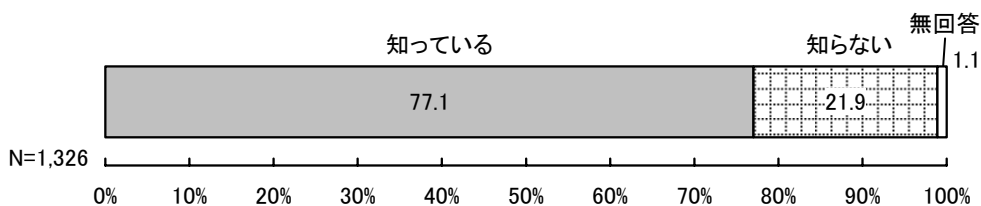


属性別に見ると、性別では大差は見られない。

年代別では、「現在の場所に住み続けたい」という定住意向は年代が上がるほど高い割合になっている。20代では48.9%であったのが、70歳以上では90.3%と9割を超える回答となっており、差が顕著である。一方で、移転希望率は20代で最も高く、年代が上がるにつれて低くなっている。

居住地区別では、深良、東、西の3地区は「現在の場所に住み続けたい」が7割以上を占めている。一方、千福が丘や企業団地では定住意向は2～5割程度となっており、特に企業団地では「市内の他の場所に移りたい」が3割となっている。

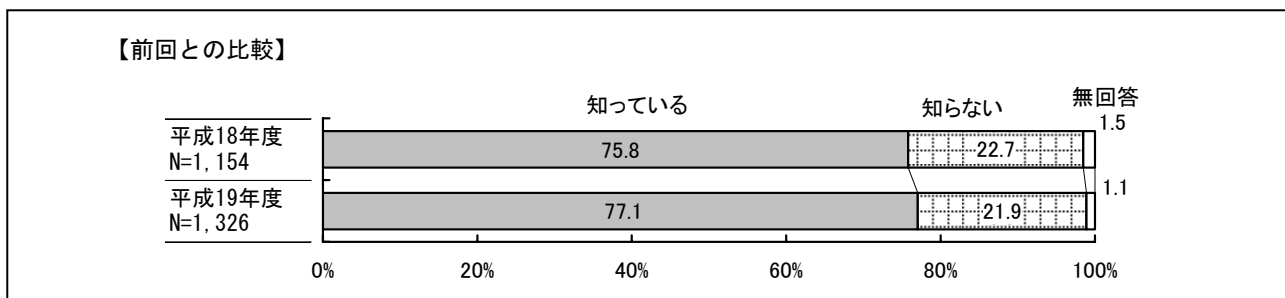
問3 ご自身の適正体重を知っていますか。(〇は1つ)



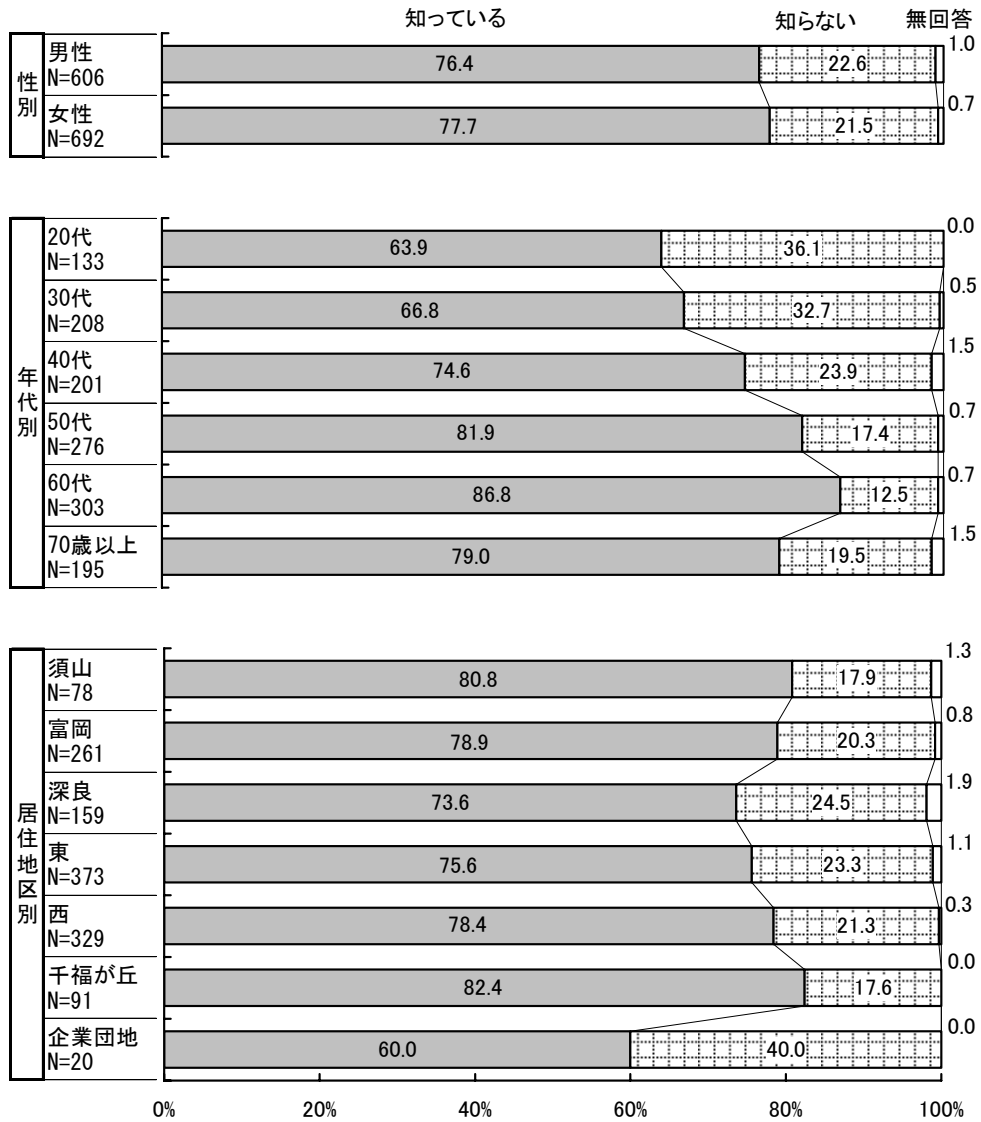
適正体重を「知っている」は約8割。
年代が上がるほど「知っている」割合が高い。

適正体重は、「知っている」が77.1%と大半を占めている。

下記のグラフにあるように前回と比較すると、ほとんど変化はなく、「知っている」はわずかに高くなっているが、「知らない」は前回との差が1ポイントにも満たない。



【属性別】

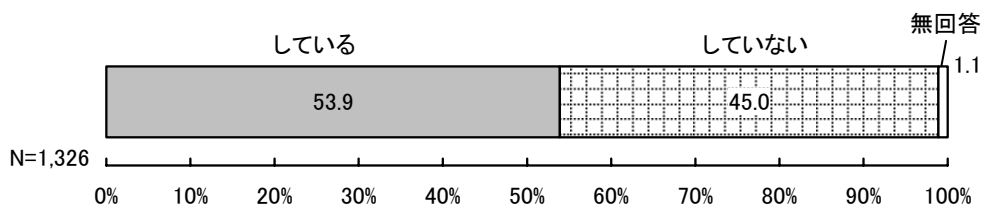


性別による差はほとんど見られない。

年代別では、年代が上がるほど「知っている」割合が高い傾向がみられる。

居住地区別では、企業団地で「知っている」が他の地区に比べて低く、6割となっている。

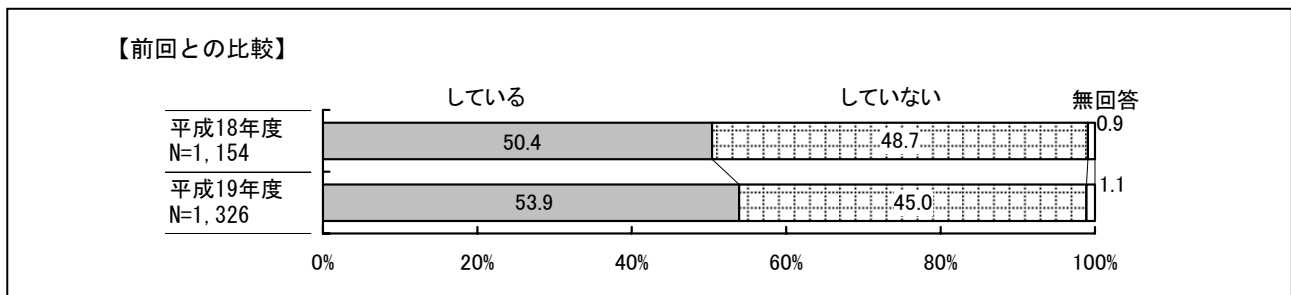
問4 適正体重に近づくように体重をコントロールしていますか。(〇は1つ)



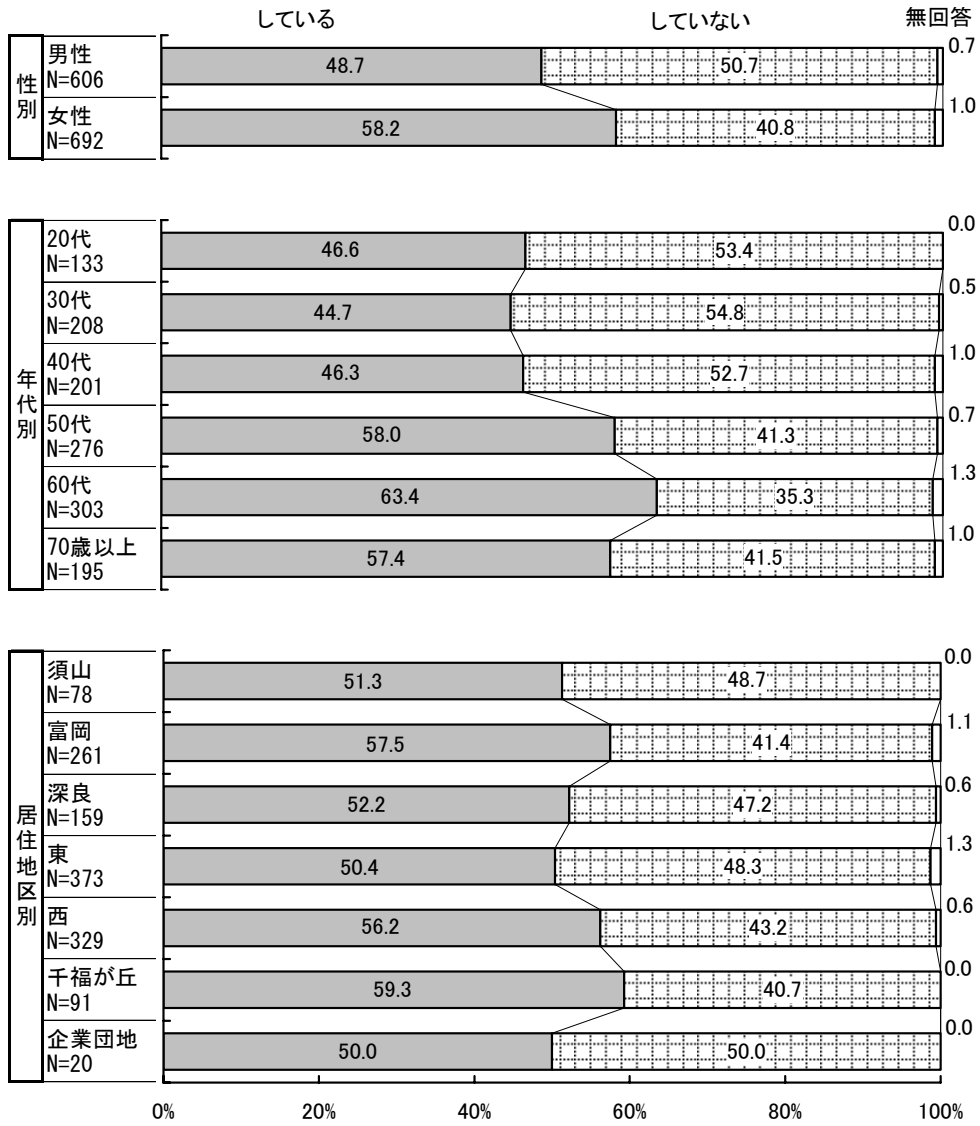
体重コントロールは「している」が過半数。
 「している」割合は男性より女性が高く、また年代が上がるほど高い。

体重コントロールは、「している」が 53.9%、「していない」が 45.0%と「している」が過半数となっている。

下記のグラフにあるように前回と比較すると、「している」が 3.5 ポイントとわずかに高くなっている。



【属性別】



性別にみると、「している」は女性が高く、男性を9.5ポイント上回っている。
 年代別にみると、「している」は40代までは半数を下回り、50代以上は6割前後と高くなっている。
 居住地区別にみると、いずれの地区においても「している」が過半数を占めている。